

2011（平成23）年度入学試験問題（後期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小・中学校教科教育コース
社会科教育専修

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙のほかに、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、150分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

【問題】

2006年に改正された教育基本法は、1947年に制定されたものである。この法律は、一方では当時の文部省内に設けられた外部人材を軸とした草案策定スタッフの活動と、他方では内閣直属の審議機関であった教育刷新委員会の活動とが、ともに連携して産み出したものであった。

1946年3月に来日した米国対日教育使節団に対応するため急ぎ組織された「日本教育者の委員会」（日本側教育委員会とか日本教育者委員会と称されることもある）を、同年9月に改編して教育刷新委員会が設置された。49年6月に教育刷新審議会と改称されたうえで、52年6月まで存続した。委員会は全体会議のほかに多様な案件を処理するために多くの特別委員会を組織していたが、とくに「教育の基本理念に関する事項」を扱ったのが第一特別委員会であった。

教育刷新委員会で何がどのように議論されたかについては、当時の速記録が残っており、それをもとに委員たちのやり取りが詳細に再現された会議録が刊行されている。以下に掲げる資料A～Cはその会議録からの抜粋である。抜粋引用のなかに「ママ」という傍注が何箇所かあるが、それは明らかな誤字・脱字と思われる場合でもオリジナルの状態を尊重してそのまま掲げていることを意味する。また、口頭でのやり取りをそのまま再現しているから、文章叙述としてはぎこちない場合が多々ある。

なお、補足資料として、改正前の教育基本法の「前文」から第2条までを掲げてある。

資料A～Cおよび補足資料を参照して、つぎの3つの設問に答えなさい。

設問1 資料Cを読み、どのような議論が交わされ、どういう結論に落ち着いたか、400字程度でまとめなさい。

設問2 教育基本法第1条には、改正前でも改正後でも、「人格の完成をめざし（目指し）^注」と明記されている。ただ、資料Bに記録されているように、別の表現の可能性も模索されていた。条文化された「人格の完成をめざし」という表現とは別の表現に修正するとすれば、あなたならどのような表現を使いますか、その理由も含めて600字程度で述べなさい。
(注：改正前は「めざし」で、改正後は「目指し」となっている。)

設問3 あなたは改正前の教育基本法の下で学校教育のほとんどを享受してきた。自分が享受した学校教育での経験と照らし合わせながら、資料A～Cに反映されている教育基本法の制定に関わった人々の営為について、800字程度で論評しなさい。

資料A：第一特別委員会第三回会議でのやり取り

出典) 日本近代教育史料研究会編『教育刷新委員会・教育刷新審議会 会議録』第六巻, 岩波書店, 1997年。

非公開

非公開

資料 B：第一特別委員会第五回会議でのやり取り

出典) 日本近代教育史料研究会編『教育刷新委員会・教育刷新審議会 会議録』第六巻, 岩波書店, 1997年。

非公開

非公開

資料C：第一特別委員会第六回会議でのやり取り

出典) 日本近代教育史料研究会編『教育刷新委員会・教育刷新
審議会 会議録』第六巻, 岩波書店, 1997年。

非公開

非公開

補足資料：改正前の教育基本法（前文から第2条まで）

（前文）

われらは、さきに、日本国憲法を確定し、民主的で文化的な国家を建設して、世界の平和と人類の福祉に貢献しようとする決意を示した。この理想の実現は、根本において教育の力にまつべきものである。

われらは、個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間の育成を期するとともに、普遍的にしてしかも個性ゆたかな文化の創造をめざす教育を普及徹底しなければならない。

ここに、日本国憲法に則り、教育の目的を明示して、新しい日本の教育の基本を確立するため、この法律を制定する。

（教育の目的）

第1条 教育は、人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたっとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。

（教育の方針）

第2条 教育の目的は、あらゆる機会に、あらゆる場所において実現されなければならない。この目的を達成するためには、学問の自由を尊重し、實際生活に即し、自発的精神を養い、自他の敬愛と協力によって、文化の創造と発展に貢献するように努めなければならない。

2011（平成23）年度入学試験問題（後期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小・中学校教科教育コース

社会科教育専修

出題の意図

設問1

実際の審議会討議のやり取りから論脈と結論とを整理する能力をみる。

設問2

代替案を構想してそれを合理的に正当化する能力をみる。

設問3

敗戦直後の教育改革を担った人々の試行錯誤に理解を示しつつ、その改革を享受した自分たちの経験との接点を探求しながら、教育問題の一面について論評する能力をみる。